



2022年度

八王子つばめ塾 卒業文集

【匿名版】

「八王子つばめ塾公式イラスト」に込めた思い

太陽：

平等に注がれる光のように、「教育は平等に受けられる社会であるべき」という思い。

大樹：

「大きく成長する生徒の可能性」

つばめとつばめの巣：

「八王子つばめ塾そのものと、目指す理念」

青空教室：

立派な建物・施設の中に教育が存在するのではなく、「どんな所でも、学ぶ意志があるところに教育は存在する」という思い。

円卓（切り株）：

「学ぶ力に優劣はなく、生徒自身が教育を受ける能力を等しく持っている」という思い。

講師：

「無償で生徒を導いているという誇りと、寄り添って学習を支援する優しさ」

事務局長 小宮位之

「卒業文集2022年度版 発刊にあたって」

八王子つばめ塾は設立して10年半を迎え、2022年度は15名の中学校卒業生を送り出すことができました。これもひとえに、ボランティア講師のみなさま、全国の寄付者、支援者のみなさまのおかげと深く感謝申し上げます。ただ、コロナ禍において、生徒数も減少しております。

今、公教育以外のウエートが大きくなりつつあり、経済的に苦しい家庭のお子さんは教育を受けるのが難しい時代になってきました。子どもが十分な教育を受けられないのは、社会の損失であり、なんとしても防ぐべきです。少子化の時代にあって、子どもを必死に育ててくれているひとり親家庭がますます貧困になったり、子どもが多い共働き家庭が教育費に苦しんだりするのは、社会の構造上の大きな矛盾と言えます。ここを何とかしたいと思って、つばめ塾は2012年9月に講師が私1人、生徒1人から始まったのです。

現在、お米プロジェクトを通して「お米・パスタ」を希望者にプレゼントしています。さらに、5種類の奨学金制度も運用が安定してきています。これは「経済的に少しでも安定することが学習意欲の向上に寄与する」という思いから実施していることで、私自身の幼少期の経験に基づいています。奨学金を受けている高校生、大学生の中には、将来への夢を持って、日々学業に励んでいる子も多く、将来が楽しみです。

つばめ塾への支援は4つの形があると思っています。

- 1、勉強ができる人は、子どもたちに教えてほしい。
- 2、場所を提供できる方は、勉強場所を提供してほしい。
- 3、お金を持っている方は、寄付をしてほしい。
- 4、事務能力のある方はその労務を提供してほしい。

おかげさまをもちまして、2019年11月には認定NPO法人になることができました。現金・クレジットカードでのご寄付をいただいた場合、税控除を受けることができます。

地域の大人が、どれかを選んで子どもたちへの支援をしてくだされば、より良い世の中ができると信じて行動して参りました。そして現在、つばめ塾を参考にして多くの無料塾が誕生しています。また、2023年度の途中からは、私個人が運営していた「淵野辺つばめ塾」を吸収合併し、一体化した運営を進めていきます。

今後とも皆さまのあたたかいご支援、ご協力を仰ぐ次第です。これからもつばめ塾が、子どもたちの夢を応援する機関であり続けられるよう、応援をよろしくお願いします。

卒業生の皆さんには、充実した学生生活を送り、この社会の中で「厳しい思いをして暮らしている人の味方」になれる人材に成長することを期待しております。



2023年6月吉日

認定NPO法人八王子つばめ塾 理事長兼事務局長 小宮位之

2022年度 中学3年生 八王子つばめ塾卒業生No.1

☆ つばめ塾で成長したと思うこと

苦手な教科でも出来るようになることで楽しく学べるということ
を知りました。私は不得意な教科の苦手意識が強かったので、
塾でしか英語や数学の勉強をしていなかったのですが、わからないところ
を教えてもらい、できるようになることで、自ら勉強することも増え成長できま
した。

☆ どんな大人になりたいですか？（将来の夢など）

いろんな経験を重ねて、自分の好きなことについて深く知って
いきたいと思っています。私はあまり勉強が得意ではないですが、
勉強などの、苦手なこともこの先で頑張りたいです。

☆ お世話になった講師や支援者へのメッセージ

たくさんの人に支えられて中学校交生活を送ることができたので、
とても感謝しています。中学2年生も3年生の時も色々とお世話に
なって、お世話になったたくさんの人へお礼を言いたいです。

2022年度 中学3年生 八王子つばめ塾卒業生No.2

☆ つばめ塾で成長したと思うこと

真面目に勉強に取り組む姿勢

☆ どんな大人になりたいですか？（将来の夢など）

理学療法士になりたいです。

☆ お世話になった講師や支援者へのメッセージ

1年間分からない所を細かく教えて頂きありがとうございます。
ございました。

2022年度 中学3年生 八王子つばめ塾卒業生No.3

☆ つばめ塾で成長したと思うこと

苦手な所が分かるようにになり、分かることで
楽しくなりました。

☆ どんな大人になりたいですか？（将来の夢など）

やさしい大人になりたいです。
美容師になりたいです。

☆ お世話になった講師や支援者へのメッセージ

最後まで 寄り添って頂き、ありがとうございました。
出会えたことに 感謝しています

2022年度 中学3年生 八王子つばめ塾卒業生No.4

☆ つばめ塾で成長したと思うこと

・勉強の仕方が分かった。

・集中力が高まった。

☆ どんな大人になりたいですか？（将来の夢など）

・判断が早い大人

・考えれる大人

☆ お世話になった講師や支援者へのメッセージ

約1年間 支えてくださり ありがとうございました。

2022年度 中学3年生 八王子つばめ塾卒業生No.5

☆ つばめ塾で成長したと思うこと

つばめ塾に通って、ずっと数学と英語をやってきたおかげで、
数学と英語の成績が上がり、合格できた事が成長した所
だと思います。

☆ どんな大人になりたいですか？（将来の夢など）

私の将来の夢は、英語と韓国語を教える先生になる事
です。なので、まず先生になるために周りを見れる立派
な大人になりたいです。

☆ お世話になった講師や支援者へのメッセージ

今までたくさんご迷惑をお掛けしました。そして、たくさ
んご指導いただきありがとうございました。おかげ
で、志望校に合格出来ました。

2022年度 中学3年生 八王子つばめ塾卒業生No.6

☆ つばめ塾で成長したと思うこと

物事の考え方や人として成長できたと思う。

☆ どんな大人になりたいですか？（将来の夢など）

優しくて自分で考えて行動できる人。 明確な目標がある人

☆ お世話になった講師や支援者へのメッセージ

最初には英語と理科と社会が苦手だったけど当日では英語と理科と社会は模擬試験より点数がとれたので本当にありがとうございます。

2022年度 中学3年生 八王子つばめ塾卒業生No.7

☆ つばめ塾で成長したと思うこと

勉強お意欲が表れたこと

つばめ塾に入るまでは、勉強をしなくて、スマホやゲームに逃げていた。しかし、通

慣れてからは、自分も勉強している仲間や熱心に教えてくれる講師の方がいる

おかげで勉強をしなければいけないことを学んだ。この環境のおかげで、勉強お意欲が表れた。

☆ どんな大人になりたいですか？（将来の夢など）

私達生徒に対して、外溢みを聞いてくれたり、熱心に勉強を指導してくれた

ボランティアの講師の方や人生に大切な事を伝えてくれる塾長のような

優しく寛容な人になりたい。

☆ お世話になった講師や支援者へのメッセージ

私が第一志望の高校に合格できたことは、学校の先生おま

このつばめ塾の講師のサポートのおかげだと思っています。私の勉強を

指導してくれた講師の方、今後本当にありがとうございました。また、塾で貰い

た多くの場面で使った支援者の提供品は、受験勉強や生活で十分に役立っている
ことができた。本当にありがとうございました。これから

これからも勉強お意欲に努め、自分の力で大学進学などの高い壁を乗り越えられるように成長していきます。

講師からのメッセージ

ボランティア講師のみなさんからのお祝いメッセージです。
本年度は 12 人の先生からいただきました。ぜひ読んでください!!

林龍慧先生（八王子駅前教室）

みなさん、卒業おめでとうございます。

君たちの受験勉強の成果が実を結び、志望校に合格することができて、本当にうれしいです。君たちは英語が得意ではなかったけれど、一生懸命努力し、目標に向かって頑張りました。これからも自分自身の目標に向かって同じように努力を惜しまずに頑張してほしいと思います。中学校を卒業し、これからは新しい高校生活が始まります。新しい環境で、たくさんの出会いや経験が待っています。楽しいことも、大変なこともあるかもしれませんが、受験勉強をやり切った君たちならどんな困難にも立ち向かっていけると思います。

最後に、君たちのこれからの人生が輝き続けることを心から応援しています。

小比田雅晴先生（八王子駅前教室）

つばめ塾生のみなさんへ

ご卒業、また高校入学おめでとうございます。

みなさんに1つだけお伝えしたいと思います。

それは<何事も自分自身で決める>ということです。

今回、高校受験という大きなイベントを乗り越えました。

みなさんは進路について先生や友達、保護者の方といろいろ話をしたと思います。

ただ、最終的に高校（進路）を決定したのはみなさん自身です。

これからも長い人生でいろいろな岐路があると思います。

そのときに他人まかせにしない、

自分のことは自分で決めるという意識をもって行動してほしいと思います。

このことだけで今後の人生で大きく変わってくると思います。

今後のご活躍に期待しています。

小池花穂先生（南大沢教室）

卒業おめでとうございます。

つばめ塾で学んだことや今までの思い出を大切にしながら、目標に向かって頑張ってください。

高校生になると環境が大きく変わります。授業の速度が速くなり内容が難しくなります。中学の知り合いがいない高校に進学すれば、友達を作るところから始まります。また、バイトを始めると社会の厳しさやお金を稼ぐことの大変さを知ることになります。

ですが、困ったことがあれば一人で抱え込まず誰かに相談してください。

短い期間でしたが一緒に時間を過ごせて楽しかったです。

高校生活、楽しんでください。充実した日々を送れるよう、応援しています。

増森優菜先生（八王子駅前教室）

卒業生の皆さん、ご進学おめでとうございます！水曜英語クラスで講師をしていた、増森優菜と申します。そして、受験本当にお疲れさまでした。大学の授業で知ったのですが、実は韓国やアメリカなど多くの国には高校受験がないそうです。

中学の時点で競争的な環境に置かれ、プレッシャーや不安もあったかと思いますが、乗り越えていった自分を全力で褒めてほしいなと思います。これから新生活が始まりますが、高校でも、それ以外の場所でも、皆さんが楽しく過ごせる場所や人と巡り合えたら、ぜひ大切にしてほしいなと思います。

私は個人的に皆とまた会いたいので、いつでも気軽に連絡ください！皆さんの輝かしい未来とご健康をお祈りしております。

大橋多寿子先生（南大沢教室）

高校入学おめでとうございます。

コロナに振り回された中学の三年間は自分の思うように力が発揮できなかった場面も多かったことでしょう。そんな大変な時期を頑張って乗り越えてくれてうれしいです。マスクのせいかな？他の人と積極的にやり取りが苦手でもあった君たち、高校に入ったらいろいろな人たちとどんどんやり取りをして自分の世界を広げていってください。わからない事や困った事を人に聞いたり、自分でやってみる、それはつばめ塾で上達しましたよ、臆病にならずに挑戦してください。自分の未来を自分の手で切り拓いていく冒険に。

さぁ、船出しましょう！つばめ塾の先生たちはずっと君たちの背中を見守っていますね。

上都礼智先生（八王子駅前教室）

みなさん、ご卒業、進学おめでとうございます。受験勉強たいへんお疲れさまでした。私は土曜日数学を担当しましたが、お祝いの言葉を贈らせていただきます。

挑戦と考えることです。例えば、普段の学校生活や、アルバイト、学校外での活動の中で、自分の殻に閉じこもらず、これ面白そう、これできるかな？と思ったことにどんどん挑戦してみてください。自分の新たな可能性に気づくことがあると思います。

自由が増えると、どう行動するのが一番良いのか考えてみてほしいです。例えば、部活で計画して、自主トレして試合で勝てた、逆に配慮が足りず失敗をして怒られたなど、いろいろあると思います。

挑戦と考えることを意識して高校生活を楽しんでください。

尺長憲昭（南大沢教室）

2022年度卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

そして新年度からの新しいステージで、楽しく高校生活を送ってください。

中学時代は制限のある生活が続き息苦しい場面も多かったことと思います。元の生活に戻るにはまだまだかかりそうですが、これからは少しずつはマシになってくるのかな？

学校だけではなく、バイトや色んな活動でたくさん友達を作って、いい仲間と共に楽しい高校生活を送ってください。

まずは3年間の高校生活を全力で楽しみましょう!!♪

丸山友大先生（南大沢教室）

卒業おめでとうございます！ 新生活はいかがですか？私の場合「言葉」を知らないことによる苦勞を思い出します。

現在、私には作曲という趣味があります。一つ一つの音符が音楽になっていく様が非常に心地よいのです。

しかし、歌詞を紡ぐための「言葉」を知りませんでした。

この「紡ぐ」とは自分の心情の表現です。つまり自己分析には言葉が必要と言えます。思えば私は自己分析も苦手でした。

皆さまの場合これからは理性的な判断を強いられる場面が増えてくることでしょう。自己分析はこうした、理性と感情を切り離す際に重宝します。それゆえ、さらなる成長のカギは「言葉を知ることで感情を整理できるようになること」なのではないかと思っております。

金丸舞音先生（八王子駅前教室）

つばめ塾卒業おめでとうございます！ 週1回2時間と短い時間でしたが、みんなと会えてよかったです。

約1年間みんなの近くで成長を見ていて、やり続けることの大切さを自分も学ぶことができました。私も社会人頑張りたいと思います！

つばめ塾での経験は高校でもきっと役に立つと思います！ バイトとか部活とか、楽しいこと、好きなことやりつつ、勉強もゆるく頑張ってるね!!
またいつか会えることを楽しみにしています！

谷合飛先生（南大沢教室）

卒業生のみなさん

ご卒業おめでとうございます。

受験勉強大変だったと思いますが、きっとこれからの人生、学びの機会はたくさんあると思います。ぜひつばめ塾の経験をいかして頑張っていただけたらと思います。

1年間一緒に勉強した、Mくん。努力する姿、そして学んだことを力にしていく姿、とてもカッコよく見えました。

好きなサッカーにも全力で向き合って、ぜひ楽しい高校生活を送っていただけたらと思います。

青山龍生先生（八王子駅前教室）

つばめ塾卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業からはや1か月が過ぎ、新しい環境での生活をスタートさせたことと存じます。

皆さんと一緒に学び合うことができたことは、私にとってもとても良い思い出です。皆さんの学びへの態度は素晴らしく、私も「教えること」のやりがいを強く感じました。

まだまだ未熟な私からメッセージを送ることは恐縮ですが、これから先のいくつもの大変な試練の中で挑戦することを恐れないでほしいです。挑戦した自分に自信を持ち、地道に努力し続けることが、成功につながると私は考えています。

皆さんならきっと大丈夫です。今後のご活躍を心からお祈りしています！

中平さつき先生（八王子駅前教室）

みなさん、ご卒業とご進学、本当におめでとうございます！

初めは勉強の仕方や先生との接し方、塾で2時間集中力を保つことなど、手探りの部分が多かったかもしれません。

それぞれの目標を達した今、あの頃からは大きく成長したのを実感しているのではないのでしょうか。

これからも努力を惜しまず、また助けが必要な時は必ず声に出してください。

つばめ塾の先生全員が、ずっとみんなを応援していますよ。

どうか楽しい高校生活を、そして幸せな人生を送ってくださいね！

つばめ塾を卒業した君たちへ

～思いやりと温かさの気持ちを持って～

八王子つばめ塾 事務局長 小宮位之

私が28歳の春。アフリカのウガンダにいました。そしてノートの切れ端で鶴を折っていました。その時、私は映像制作の仕事でウガンダにいて、エイズ孤児が、1000人も暮らしている施設・学校取材していました。その休憩時間に校庭の端に落ちていたノートの切れ端で鶴を折って、目の前で遊んでいる子にあげようと思ったのです。しかし完成する直前に仕事が再開され、それはポケットにしまわれました。心の中に何か宿題が残ったような気持ちになりました。

私が取材した当時、ウガンダでは内戦があり、反政府軍が少年兵士を使って内戦を続けていました。村に押し入って10歳～12歳の男の子たちを誘拐し、武器を持たせたのです。だからその子たちは、中学生、高校生年代を反乱軍の中で過ごし、銃をうち、人を殺すことを余儀なくされていたのです。取材を進めるうち、余りにも残酷な現実、精神的なコントロールが難しくなり、ホテルに帰って毎晩のように泣き、そこで誓いました。「今はカメラマンの見習いだけど、将来チャンスがあったら、絶対に人を育てよう。1ミリでも2ミリでも世の中を良い方向に動かせる人材を育てよう。そうでなければ、この子たちに申し訳ない。生まれた国が違うだけで人生がここまで変わってしまっているのか…」この時につばめ塾の基礎ができたと言っていいと思うのです。そうして大きな宿題を心の片隅に抱いて日本に帰国しました。

アフリカのウガンダや、中東レバノンのパレスチナ難民キャンプに取材に行き、感じたことは、「戦争が貧困を生み、人々が謙虚さを失って格差が広がる」ということでした。この正反対の言葉は、人への思いやり、温かい気持ち、そして周りに対する感謝の気持ちだと思っています。

私がこの原稿を書いている今、ロシアがウクライナに対して戦争を仕掛け、戦争の真っ最中です。長い戦争が続いています。卒業生の皆さんも、テレビやインターネットでの報道を見て心を痛めていると思います。

この文集が完成した時、戦争の結果がどうなっているかはわかりませんが、私は自分の無力さに愕然としています。何もできない自分です。でも、一つだけ希望があるのです。それは、この戦争の惨禍を癒やすには、「やさしさ、思いやり、温かさ」が必要だということ。しかもそれは、つばめ塾の講師から、卒業生の全員が教わって来たことだからです。皆さんは、講師の言葉や励ましから、「温かさ」を十分に受け取ったと思います。それを今後、高校生活や大学生活で、部活、勉強、友人関係など、あらゆる場面で発揮して行ってほしいと思っています。どんなに小さいことでもいい。不機嫌でいるよりは笑顔で過ごし、挨拶をしないより、明るい挨拶を交わし、困っている人がいたら相談に乗ってあげ、落ち込んでいる人がいたら隣に座って、明るく励ましてあげればいい。そこまで難しいことはありません。皆さんの心の奥底にある、「やさしさ」を発揮すればいいだけのことです。その対極にあるのが「戦争」だと思うのです。だから、皆さんがやさしさを持てば、いつかは平和になる時がやってくる。そういう希望を持っているのです。

だから私は、このつばめ塾を、単なる「有料塾の無料版」で運営しているつもりはありません。アフリカの奥地で誓ったことを、自分なりに実践しているのです。その成果は、皆さんが家族や友人のために言葉をかけたり、行動した時に、出ていると言っていると思っています。つばめ塾の卒業生は、300人を超えましたが、卒業生の皆さんが一生懸命に学び、働いて、そして少しのやさしさを隣の人に分けていると思うと、今日の塾運営も頑張れます。

さて、話は変わりますが、皆さんは「糸」という曲をご存じでしょうか？ 中島みゆきさんが作詞作曲し、たくさんのアーティストがカバーしているので、「縦の糸はあなた～横の糸は私～」というフレーズを聞いたことがあると思います。

私は中学生の時から中島みゆきさんのファンだったので、この曲をよく聴きますが、とても好きなのは2番の歌詞です。

なぜ 生きてゆくのかを 迷った日の跡のささくれ

夢追いかけて走って ころんだ日の跡のささくれ

こんな糸がなんになるの？ 心許なくてふるえてた風の中

縦の糸はあなた 横の糸は私

織りなす布は いつか誰かの 傷をかばうかもしれない

皆さんも、いつか迷う日が来ると思います。夢が叶わなくて挫折する時もあるでしょう。「こんなつながりが何の役に立つのか？」と、友人・家族・恋人を信じられなくなる日も来るでしょう。

しかし、そういう思いをした人だからこそ、他人の傷をかばえるのだと思います。つばめ塾の塾生はみんな、人の傷をかばうことのできる人だと信じています。そのことを固く信じて、今日までつばめ塾を運営してきました。

皆さんの中には、これまでにいろんな思いをしてきた人も多いと思います。私も中高生のころにいろんな思いをしました。「どうしてうちにはこんなにお金がないのだろう」「お金がない家庭は社会から見捨てられているのではないか…」「お金があったら簡単に大学進学できたのに」「結局世の中はお金がすべてじゃないか!!」。いろんな気持ちが渦巻いた6年間でした。でも、「糸」の最後はこんな歌詞で終わっています。

逢うべき糸に出逢えることを 人は仕合わせと呼びます

私にとって、逢うべき糸は「無料塾」でした。インターネットで「無料塾」の存在を知った時、感動で震えました。「世の中にはこんなに素晴らしいことをする人がいるんだ。自分が貧しい家庭に育ったことと、教師をしていたことが完全に活かせる最高のボランティアじゃないか！！」と。初めて見た瞬間の「無料塾への感動」。この気持ちは今も全く変わっていません。

つばめ塾を始めて、多くの生徒と出逢うことができました。2022年3月末には、卒業生だけでも合計で300名を超えました。1円の得にもならないことのために毎週熱心に来て、教えてくれる素晴らしいボランティア講師もトータルで200名を超えます。こんなにも多くの生徒、ボランティア講師に出逢えて本当に幸せだと思っています。

つばめ塾に命はかけてないし、家族も捨ててはいませんが、自分の人生はかけています。「仕事」と「家族と過ごす」以外の時間はすべてつばめ塾に費やしています。でもこれができる自分は幸せだと思っています。振り返ってみれば、私が貧困家庭に育った経験がなかったら、絶対につばめ塾は作らなかったと思うのです。だから両親には心から感謝しています。父は、稼ぎの悪い人でしたが、25年間も少年野球のコーチをした人で、暑い日も寒い日もグラウンドに立ち続けて子どもたちを育てていました。本当に尊敬できる人でした。わが家の貧困で苦勞はしましたが、恨んだことは一度もありません。

最後に、皆さんに伝えたいのは「してきた苦勞は必ず役に立つ」ということです。今までしてきた苦勞、これからする苦勞。それが「誰かの傷をかばう日」が必ず来ます。そして何の苦勞もせずに育った人より、皆さんが「織りなす布」の方が何倍も温かいということは、疑いようもないことです。

そんな皆さんを、ボランティア講師はもとより、つばめ塾の支援者の方、寄付者の方も応援しています。誰でもそうですが、人生には、良い時も、悪い時もあります。しかし、皆さんが教室で学んでいた真剣なまなざし、そして講師の温かいまなざしを思い出すと、きっと乗り越えていける!! と確信できます。人は、人から期待され、応援され、感謝される時に生きる力が湧いてくると思うからです。講師も、皆さんの書いた文集を読んで、ボランティアを続けることができていると思うので

す。私自身が毎年皆さんからパワーをもらって運営できているのです。その力がなければ、今日まで続かなかったに違いありません。

「自分は人から応援されている存在なんだ」と心強く思って、これからの生活に励んでください。そして、成長したら、誰かを応援できる皆さんになってください。それを、私と講師一同は願っています。

皆さんの高校生活、大学生活が充実したものになるよう、つばめ塾の事務所からいつも祈っています。